

「核兵器禁止条約」への署名・批准を求める意見書採択に

関する陳情書

討論要旨 大島もえ議員

実は、今年戦後78年ということで、私は子供たちにその話をしましたところ、まちで会う知人の年配の方を見つけると何歳と聞いて、78歳以上の方を見るとくぐり抜けてきた方々なんですねという会話をするようになりました。

今回の陳情は、核兵器禁止条約への批准に対する賛否ではございますが、私たちはここまで恒久平和を求めるといふ思いは一致するという流れで討論を広げてきたかと思えます。市民クラブを代表しての賛成討論としましては、市のホームページを画面に映し、行わせていただきます。

尾張旭市非核平和都市宣言を宣言しましたというページがございます。尾張旭市は、市制施行40周年を契機に「非核平和都市宣言」を行いました。市政の運営にあたり、宣言の趣旨を尊重してまちづくりに取り組んでいます。以下、尾張旭市非核平和都市宣言について掲載されておりますが、ここは中略いたしまして、一文引用します。唯一の戦争被爆国に住む私たちは、二度と悲劇を繰り返さないよう「核兵器のない世界」の実現に向けて、国際社会に働きかけていかなければなりません。以降も中略いたします。この宣言文の下には、「非核平和都市宣言」は、平成23年第1回尾張旭市議会定例会において、全員一致で議決されたと記されております。また、その下には写真が2つ掲載されており、その一つとしては、市役所の正面玄関上に「非核平和都市宣言のまち」という啓発看板が掲げられておりますこと、そして、宣言内容のプレートも掲げられておりますことが掲載されております。

そのような尾張旭市に暮らす1人として、我々会派市民クラブ一同、この陳情に対して賛成の立場であることを表明いたします。